

学校再開に向けて

高知市立城東中学校長 大谷 俊彦

【放送原稿】

お待たせしました。いよいよ今日から学校再開です。久しぶりにみんなの元気な顔が見れて、とてもうれしく思っています。本当の意味での1学期のスタートです。

皆さんも「新しい生活様式」「ソーシャルディスタンス」という言葉を聞いたことがあると思いますが、今後の学校生活では、人と人の距離感が大切になってきます。新型コロナウイルスの感染拡大により、再び学校が休業とならないよう、感染防止を意識し、手洗いの習慣を身につけ、必ずマスクを着用して学校生活を送ってほしいと思います。しばらくの間は、これまでのような対話をしながらの授業や学校行事を実施することはできませんが、何もかも中止にするのではなく、こうした状況のなかで一体何ができるのか、どうすれば実現できるのかを常に考えて、これからの学校運営を考えていきます。

授業が約2か月できなかつたことで、受験を控えている3年生は、学習面について不安が多いことと思います。中学校では、学年ごとに、一年間に学ばなければならない内容が決められています。休業期間で授業ができなかつた日数は26日です。そのうち、13日間は夏休みを短縮することで授業を補っていきます。あとの13日間については、6月4日から、毎週木曜日を7時間授業とすることで、補っていこうと考えています。7時間授業であっても、16時25分には放課となるよう時間を工夫していきます。

テストについては、始業式で説明したように、今年度から「中間テスト」は実施せず、「ハードルクリアテスト」と「期末テスト」を実施していきます。テスト範囲が狭くなることで集中して学習に取り組みやすくなると思いますので、頑張っ一つ一つクリアして、それぞれの夢の実現のために学力向上に努めていきましょう。

次に、部活動についてお話しします。今日から部活動が再開されますが、ここでも「三つの密」を意識して活動してほしいと思います。1年生は、部活動をととても楽しみにしていたことと思います。今週一週間を部活動見学、体験入部期間としますので、ぜひ自分が3年間打ち込める部活動を見つけてください。2・3年生には、先輩としての自覚と誇りをもった行動・態度を期待しています。

これからも、城東中学校では、皆さんが安全で安心して学校生活を送れるよう、最善の方法を考えていきます。

みんなの心を一つにして、合言葉「ISSHIN」で、美しいタンポポの花が咲き誇る、そんな城東中学校にしていきたいです。